



レスポнда設定

この章では、次の内容について説明します。

- [レスポнда設定の概要 \(1 ページ\)](#)

レスポнда設定の概要

このページには、[レスポнда設定 (Responder Settings)] の完全な情報があります。

レスポндаをインストールすると、デフォルトでは [Suspend] 状態になります。つまり、レスポндаがデータを収集または送信することはありません。この状態では、マスター IP アドレスと共有秘密鍵はデフォルトで [Disable] 状態になっています。

レスポндаの有効化

- ステップ 1 [有効化 (Enable)] をクリックし、[レスポндаの設定 (Responder Settings)] ページで、レスポндаの状態を手動で選択します。
- ステップ 2 [UCOD マスターノード (UCOD Master Node)] フィールドに、ホスト名またはマスター IP アドレスのいずれかを入力します。

共有秘密キーの設定

レスポндаの状態を有効にして UCOD マスターノードを入力し、**共有秘密鍵**を設定します。これは任意ですが、データを保護するため強く推奨します。これは Master とレスポнда間の通信を保護します。



(注) Master と関連付けられたレスポндаの両方に同じキーを提供する必要があります。

共有秘密鍵は、以下のポリシーに基づき設定します。

鍵のポリシー：

1. 英数字（大文字と小文字を区別）
2. 長さは 8 ～ 24 文字
3. 特殊文字は不可

登録ステータス

ステップ 1 [適用（Apply）] をクリックして、レスポндаの設定を正常に登録します。

共有秘密キーを設定すると、それに応じて登録ステータスが変更されます。

ステップ 2 以下のそれぞれの理由を確認してください。

1. **登録済み**：マスターへの登録が正常に終了した。
2. **保留中**：レスポндаが中断されているか、またはマスターが登録に利用できない（デフォルトの状態）。
3. **未登録**：レスポндаの IP がマスターの承認済みリストにない。
4. **一時停止**：レスポндаが中断状態である。ただし、マスターは、承認済みリストにこのレスポнда IP を持っている。

マスターIPアドレス/共有秘密キーの検証が正常に行われると、レスポндаは正常にマスターに登録されます。

（注） 正しいマスター IP アドレスやホスト名を指定しない場合、[レスポнда設定（Responder Settings）] ページの [適用（Apply）] ボタンは無効になります。
